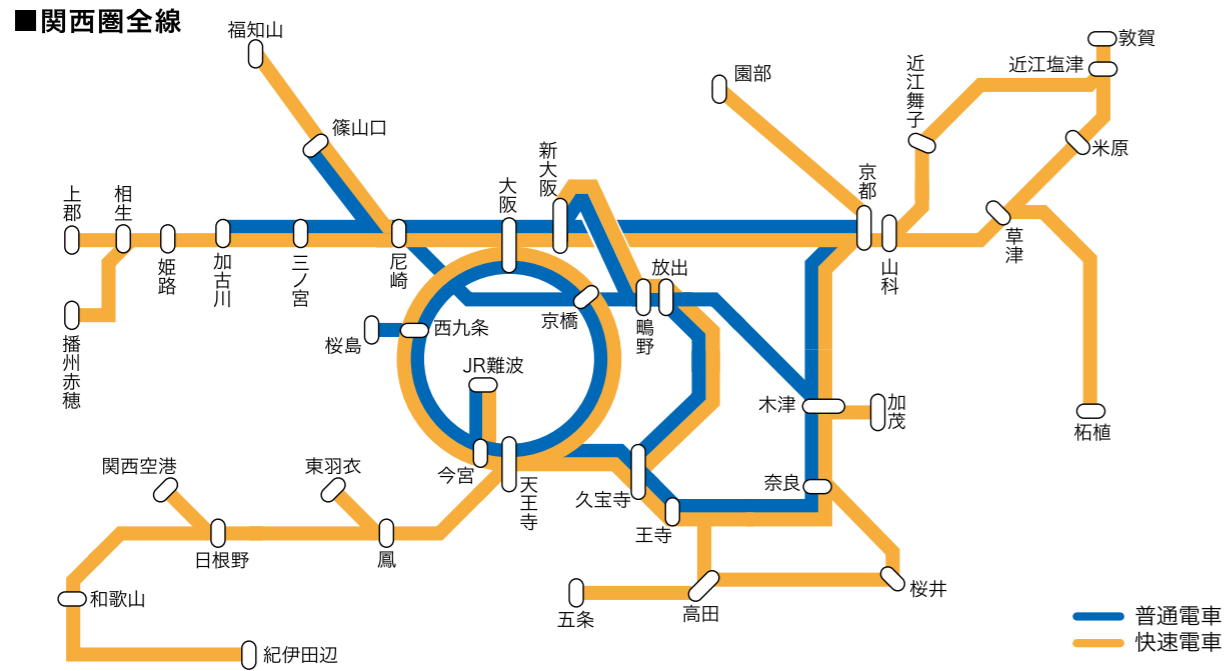
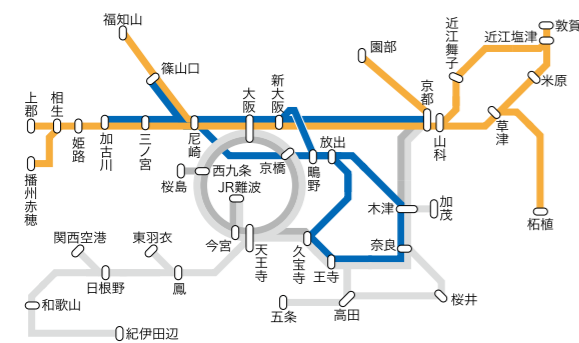


## 関西圏路線群と延べ利用者数 / 平均乗車時間

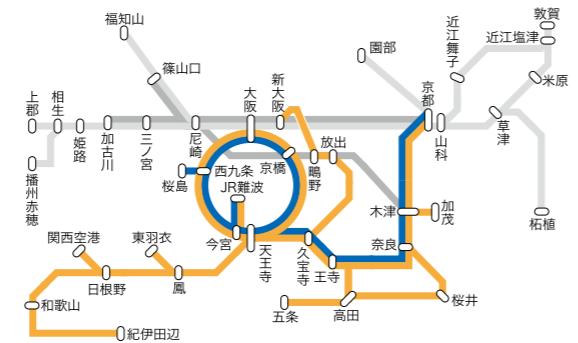
中づり広告の掲出区間である「関西圏全線」の1週間あたりの延べ利用者数は3,321万人、東海道・山陽線群では2,373万人、環状・関西・阪和線群では1,259万人となっています。



### 東海道・山陽線群



### 環状・関西・阪和線群

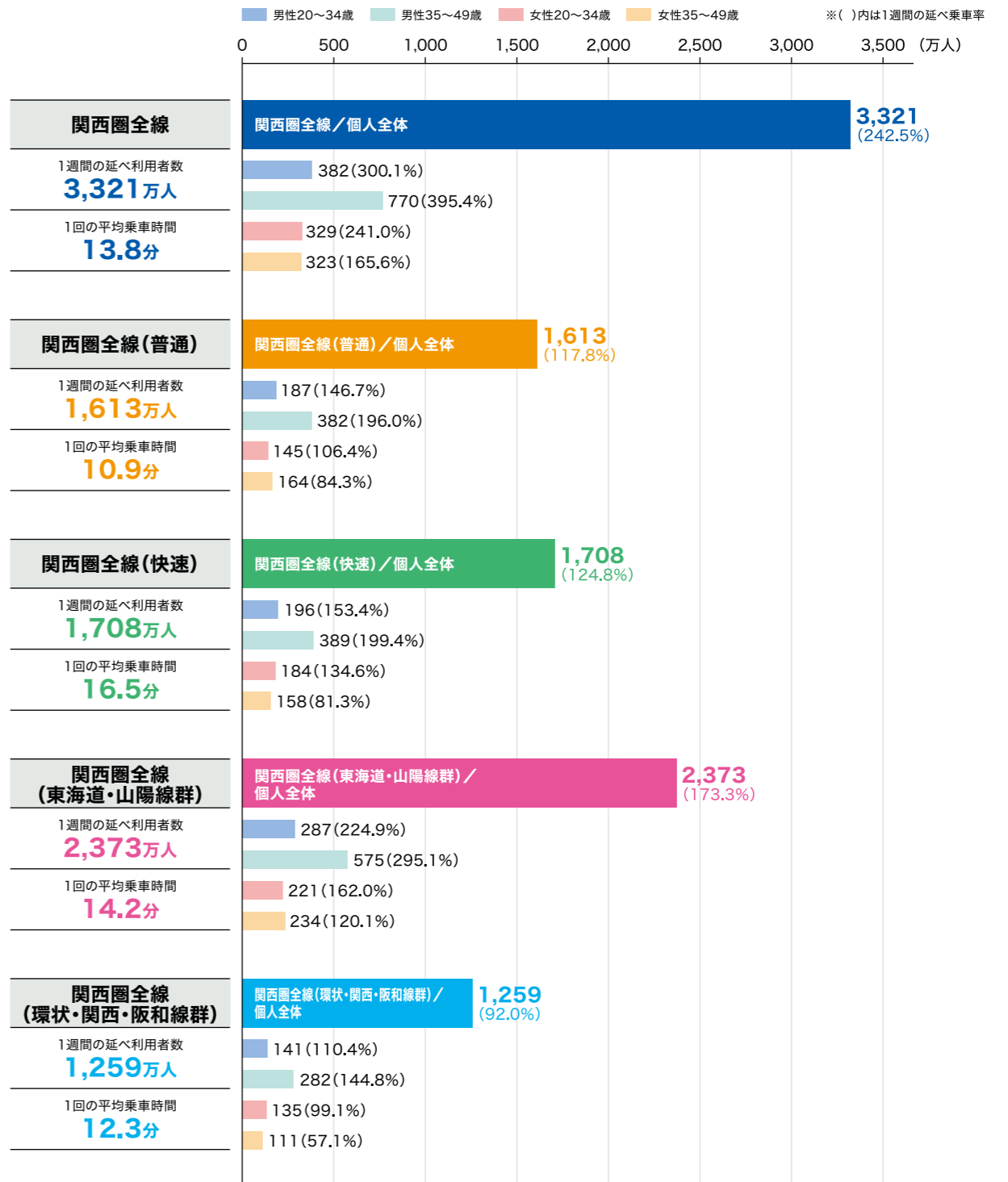


※関西圏全線、東海道・山陽線群、環状・関西・阪和線群はそれぞれ、中づり(全車)の掲出区間(巻末の「参考資料」参照)。  
※走行路線は2022年12月時点のダイヤによる。

	1週間の延べ利用者数	推定利用者数	1週間の平均利用回数
<b>関西圏全線利用者</b>	<b>3,321万人 (242.5%)</b>	<b>364万人</b>	<b>9.1回</b>
男性20~34歳	382万人 (300.1%)	39万人	9.9回
男性35~49歳	770万人 (395.4%)	67万人	11.5回
男性50歳以上	793万人 (280.6%)	79万人	10.0回
女性20~34歳	329万人 (241.0%)	39万人	8.5回
女性35~49歳	323万人 (165.6%)	39万人	8.2回
女性50歳以上	319万人 (104.9%)	65万人	4.9回

「2019年度関西圏移動者調査」((株)ジェイアール東日本企画調べ、協力:(株)JR西日本コミュニケーションズ)  
※利用者とは、1週間に1度以上利用した人を表す。  
※1週間の延べ利用者数=関西圏生活者数×1週間延べ乗車率(累積乗車率×1週間の平均乗車回数)。  
※関西圏全線利用者は、新幹線及びはるか等の特急は含めない(対象となる路線は巻末参考資料参照)。

■ 関西圏路線の1週間の延べ利用者数・延べ乗車率と1回の平均乗車時間 / 路線ベース

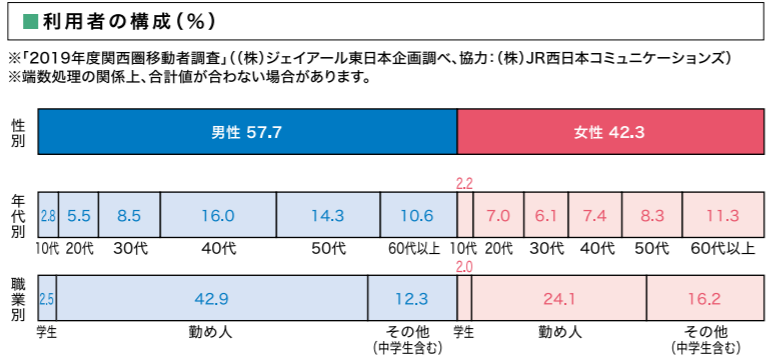
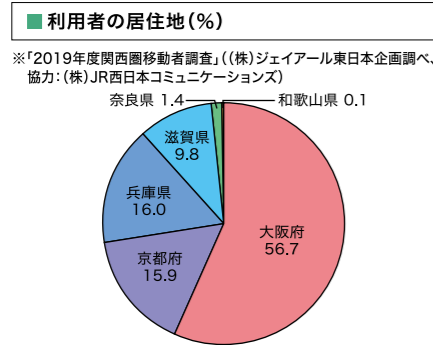
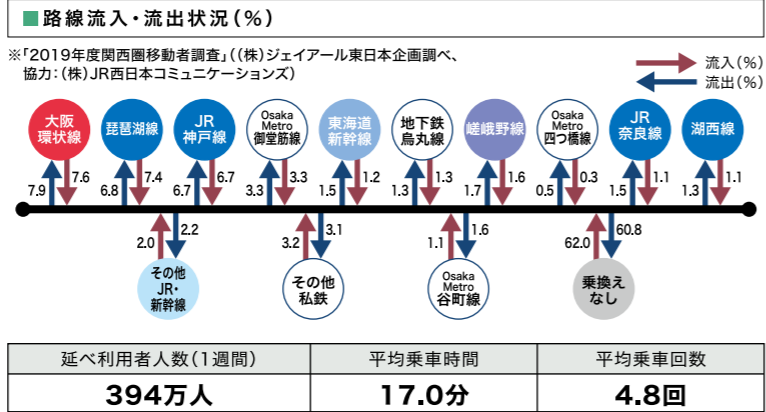


「2019年度関西圏移動者調査」((株)ジェイアール東日本企画調べ、協力:(株)JR西日本コミュニケーションズ)  
※利用者とは、1週間に1度以上利用した人を表す。  
※1週間の延べ利用者数=関西圏生活者数×1週間延べ乗車率(累積乗車率×1週間の平均乗車回数)。  
※関西圏全線利用者は、新幹線及びはるか等の特急は含めない(対象となる路線は巻末参考資料参照)。

## JR京都線(京都駅～大阪駅)



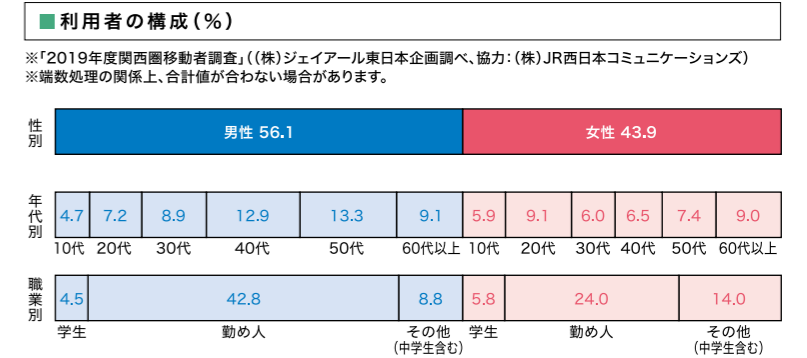
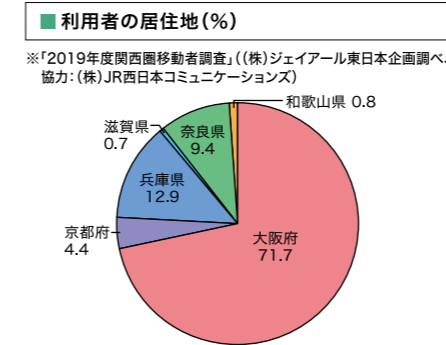
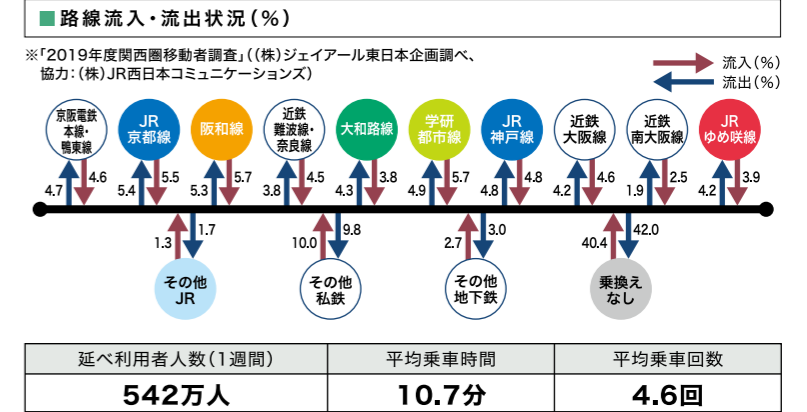
琵琶湖線、神戸線と一体的に運行されていることで、利用者の居住地が広範に渡っており、また、勤め人の比率が高い路線です。



## 大阪環状線



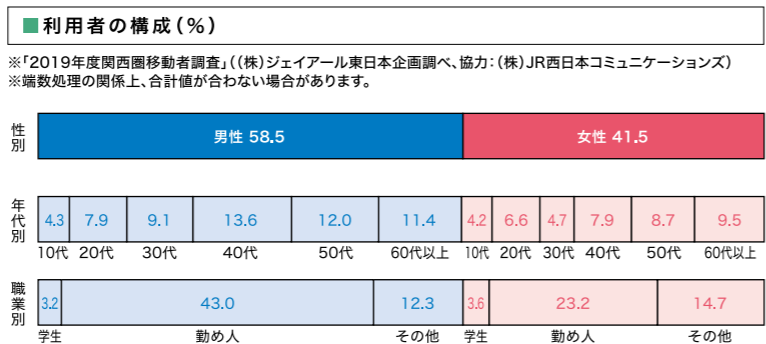
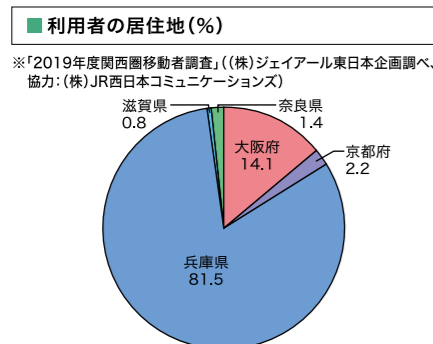
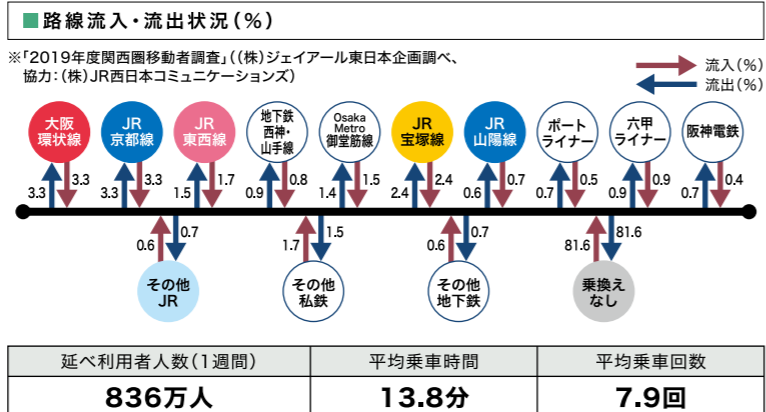
多くの駅が他社線と接続しており、線区全体が、関西エリアの結節点としてターミナル性を持つ路線です。



## JR神戸線(大阪駅～姫路駅)



西日本エリア随一の延べ利用者数を誇る旗艦路線で、1人あたりの乗車回数も、多くなっています。



## 阪和線(天王寺駅～和歌山駅)



天王寺と和歌山を結ぶ主要路線で、平均乗車時間が比較的に長く、1人あたりの乗車回数も多くなっています。

